

(6) 実用発電用原子炉施設における放射性廃棄物管理の状況

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 ( <sup>3</sup> Hを除く)	ドラム缶 発生量 (本)	その他の 種類の 発生量 (本相当)	ドラム缶 累計 保管量 (本)	その他の 種類の 累計 保管量 (本相当)	貯蔵設備 容 量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 よう素 [ <sup>131</sup> I] (Ci)						
日本原子力発電(株) 東海発電所	原子炉施設合計	<sup>3</sup> 7.7×10	<sup>-4</sup> 4.2×10	<sup>-3</sup> 1.6×10	1,092	292	0	0	約 1,600
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 1.6×10	-	1					
日本原子力発電(株) 東海第二発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*</sup> <sup>-4</sup> 4.8×10	<sup>-3</sup> 3.3×10	2,096	652	<sup>*3</sup> 32,908	<sup>*4</sup> 7,304	約 73,000
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 3.9×10	1.6	1					
日本原子力発電(株) 敦賀発電所	原子炉施設合計	<sup>0</sup> <sup>*</sup> 2.4×10	<sup>-3</sup> 1.2×10	<sup>-4</sup> 3.3×10	4,100	304	<sup>*5</sup> 24,773	7,272	約 85,000
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 7.9×10	2.5	2					
東北電力(株) 女川原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*</sup> <sup>-4</sup> 4.1×10	<sup>*2</sup> N.D.	1,696	0	3,372	0	約 15,000
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 3.8×10	2.3	0.1					
東京電力(株) 福島第一原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>0</sup> <sup>*</sup> 7.8×10	<sup>-2</sup> 1.0×10	<sup>-4</sup> 2.7×10	11,345	0	<sup>*6</sup> 239,688	150	約298,500
	年間放出 管理目標値	<sup>5</sup> 2.4×10	13	6					
東京電力(株) 福島第二原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*</sup> <sup>-3</sup> 2.4×10	<sup>*2</sup> N.D.	1,327	0	8,881	0	約 32,000
	年間放出 管理目標値	<sup>5</sup> 1.5×10	6.4	4					
東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*</sup> <sup>-3</sup> 1.7×10	<sup>*2</sup> N.D.	583	0	1,279	0	約 15,000
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 4.3×10	2.1	1					
中部電力(株) 浜岡原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*</sup> <sup>-3</sup> 2.5×10	<sup>-4</sup> 8.0×10	684	1,124	<sup>*8</sup> 27,277	2,224	約 42,000
	年間放出 管理目標値	<sup>5</sup> 1.1×10	7.4	3					
中国電力(株) 島根原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*</sup> <sup>-4</sup> 9.4×10	<sup>-4</sup> 2.4×10	822	333	<sup>*9</sup> 19,853	1,239	約 35,500
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 3.7×10	1.8	1					

\*1 検出限界濃度は $5 \times 10^{-7}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。

\*2 検出限界濃度は $5 \times 10^{-7}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。(  $^{60}\text{Co}$  で代表した。 )

\*3 東海発電所からの搬入分 ( 1,676本 ) を含み、今年度焼却分 ( 1,304本 ) を差し引いた量である。

\*4 東海発電所からの搬入分 ( 416本相当 ) を含む。

\*5 今年度焼却分 ( 3,770本 ) を差し引いた量である。

\*6 今年度焼却分 ( 428本 ) を差し引いた量である。

\*7 今年度焼却分 ( 1,680本 ) を差し引いた量である。

\*8 今年度焼却分 ( 2,345本 ) を差し引いた量である。

\*9 今年度焼却分 ( 1,183本 ) を差し引いた量である。

\* ソ連チェルノブイル原子力発電所事故の影響がみられる。

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 ( <sup>3</sup> Hを除く)	ドラム缶 発生量 (本)	その他の 種類の 発生量 (本相当)	ドラム缶 累計 保管量 (本)	その他の 種類の 累計 保管量 (本相当)	貯蔵設備 容量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 よう素 [ <sup>131</sup> I] (Ci)						
関西電力(株) 美浜発電所	原子炉施設合計	1 <sup>*</sup> 3.9×10	-3 <sup>*</sup> 1.8×10	-4 <sup>*</sup> 4.0×10	798	211	20,166	*2 4,310	約 35,000
	年間放出 管理目標値	4 5.9×10	2	3					
関西電力(株) 高浜発電所	原子炉施設合計	1 <sup>*</sup> 1.7×10	-3 3.0×10	-4 3.6×10	1,048	11	*3 26,064	** *4 286	約 50,600
	年間放出 管理目標値	4 9.0×10	1.7	4					
関西電力(株) 大飯発電所	原子炉施設合計	2 <sup>*</sup> 1.0×10	-3 6.1×10	-4 4.4×10	579	254	14,618	** 1,716	約 28,900
	年間放出 管理目標値	4 7.3×10	2.2	2					
四国電力(株) 伊方発電所	原子炉施設合計	-1 <sup>*</sup> 5.0×10	-4 9.1×10	*1 N.D.	2,267	194	*5 7,005	1,682	約18,500
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10	2	2					
九州電力(株) 玄海原子力発電所	原子炉施設合計	1 <sup>*</sup> 3.9×10	-4 2.3×10	*1 N.D.	2,052	196	*6 14,948	1,383	約 19,000
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10	2	2					
九州電力(株) 川内原子力発電所	原子炉施設合計	0 <sup>*</sup> 1.1×10	-4 3.0×10	*1 N.D.	805	0	*7 963	17	約 17,000
	年間放出 管理目標値	4 4.4×10	1.7	2					

\*1 検出限界濃度は $5 \times 10^{-7}$  ( $\mu\text{Ci}/\text{Cm}^3$ ) 以下である。( <sup>60</sup>Coで代表した。 )

\*2 今年度圧縮減容量(420本相当)を差し引いた量である。

\*3 今年度焼却分(4本)を差し引いた量である。

\*4 今年度圧縮減容量(735本相当)を差し引いた量である。

\*5 今年度焼却分(2,558本)を差し引いた量である。

\*6 今年度焼却分(1,164本)を差し引いた量である。

\*7 今年度焼却分(432本)を差し引いた量である。

\* ソ連チェルノブイル原子力発電所事故の影響がみられる。

\*\* 前年度末累積保管量に当該年度発生量を加えた量と一致しないのは、換算後の端数処理による誤差である。